

令和6年度 静岡市立中藁科こども園グランドデザイン

自然で遊ぶ

- ・ 体験や活動を通して四季の変化を目や耳、肌などで感じる
- ・ 草花や木の実・生き物を観察する中で特徴や不思議などを発見していく
- ・ 水、砂、土、泥などの素材に触れ、感触を味わいながら全身であそぶ体験をしていく
- ・ 開放感を感じながら田んぼや広々とした園庭で夢中に遊ぶ
- ・ ESDの取り組み
廃材を利用した創作や製作遊びを通して、資源への関心を持っていく

仲間とあそぶ

- ・ 自然体の中での異年齢交流をしていく
- ・ 自分の気持ちを言葉やしぐさで表していく
- ・ 友達と意見や考えがぶつかる経験をしながら共に遊びや生活を創り出していく充実感を感じていく



自分の力を信じよう!!

園目標

自分が好き
友だちが好き
藁科が好き

重点目標

自分で決めていく
=失敗は成功のもと!
思いついたらやってみる!!=

藁科中学校区教育目標

自立する子
やりたいことを自分で見つけ、他と関わりながら
自分なりの思いをもって主体的に行動する

保育教諭の協働 ~自分達で「やれた!」と思える指導~を目指して

- ・ やりたいことがじっくり出来るための拠点や時間の確保
- ・ イメージを膨らめやすくするための稼働遊具や素材、道具の配置や量などの工夫
- ・ 継続や繰り返し試せることを意識した環境づくり⇒学び続けることができる力の育成
- ・ 提供の仕方やタイミングを工夫、素材、道具、教材の研究
- ・ 思いや現状の共有及び見取る力を付けていく園内研修の充実、意見交換、語り合い
- ・ 評価(保護者アンケート・職員による園評価・学校評議員会・担当者による担当実施後評価)

家庭との連携・子育て支援 (保護者と信頼関係の構築)

- ・ 保護者と子育ての楽しさや喜び、悩みの共有 (保育参観会、懇談会、個人面談、運動会、発表会)
- ・ 情報発信の工夫=見える化 (おたより 絵本の貸し出し 食育活動 感染や災害及び施設整備の安全対策)
- ・ 特別な支援を必要とする子へのアプローチ (保健センター おしゃべりサロン 専門機関と連携)

地域と関わる

- ・ 地域の行事に参加したり、散歩等を通して地域の方と交流し、親しみを持っていく
- ・ (茶摘み、お田植祭、抜穂祭、芋掘りなど)
- ・ 近隣小学校・こども園との交流を充実
- ・ 園庭開放、おしゃべりサロンの実施



食育

- ・ 栽培や収穫・クッキングの活動を通して、野菜や食材に関心を持つ
- ・ 色や味、匂いや固さなどを感じながら「食べたい」思いで食事を楽しむ
- ・ 友達と一緒に楽しく会食しながら心やお腹が満たされていくことを感じる

